

防災特集

「防災」から「減災」へ



災害は、いつどこで発生するか分かりません。一番大事なのは、自分の命は自分で守るため、早めの避難行動を心がけましょう。また、日頃からの備えも重要です。東日本大震災においては、多くの人命・財産が失われました。多くの人が、命・財産が失われず、防災意識も薄れてきます。今こそ、一人ひとりが何をすべきか、何ができるかを考える時です。

防災力を高めよう

自助・共助・公助

自分の命は自分で守る

自助

「自助」とは、自分の命は自分で守るといことです。災害はいつどこで起こるか分かりませんが、まずは自分の身は自分で守ることが一番重要です。

普段から家族の中で災害について話し合うこともとても大切です。

地域で支え合う

共助

「共助」とは、自分の安全が確保された後に、周りの方と助け合うということです。

阪神・淡路大震災でも、一番多くの人命を救ったのは地域の住民でした。市でも、自主防災組織の結成推進・育成に努め、地域防災力の向上を目指しています。

災害に強いまちづくり

公助

「公助」とは、市や警察などによる公的な支援のことです。

市では、食糧や水などの生活物資の備蓄や資機材の整備、避難場所などを記載した「宜

緊急事態に対する市民への情報伝達について

防災行政無線について

市内105箇所に設置しています。また、防災行政無線が聞きづらいときに、電話で再度放送内容を確認できます。(放送後24時間以内、電話料金は自己負担)TEL896-2401



緊急速報(災害・避難情報)メールサービスについて

災害・避難情報をいち早く市民へ伝達するため、緊急速報(災害・避難情報)メールサービスを開始しています。現在、NTTドコモ、au(沖縄セルラー)、ソフトバンクモバイルの携帯電話ユーザーに対しサービスを開始しております。設定の詳細は、各携帯電話会社のホームページ又はお近くのショップなどにお問い合わせください。

津波災害発生時には米軍基地内の通過が可能です。

米軍基地内を使用している避難訓練や津波警報が発表された場合、米軍基地内を通行することが可能です。避難路は3ルートです。

- ①普天間飛行場の大山ゲートから佐真下ゲート
- ②キャンプ瑞慶覧の北前ゲートからリージョンゲート
- ③キャンプ瑞慶覧の北前ゲートから海軍病院前ゲート。



避難時の8つの心得

安全な避難路の確認を!

避難所までの経路はあらかじめ決めておきましょう。

非常時持出品の事前準備!

避難するときの荷物は必要なもののみとし、事前に準備しておきましょう。

正確な情報収集と早めの行動を!

ラジオ・テレビ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。

足元に注意!

浸水している場所を歩くときは、側溝や排水路に注意しましょう。

避難の呼びかけに注意を!

危険が迫ったときには市や消防から避難の呼びかけをすることがあります。

呼びかけがあった場合にはそれに従ってください。

お年寄りなどの避難に協力を!

お年寄りや子ども、障がいのある人は、早めの避難が必要なので避難に協力しましょう。

動きやすい服装、2人以上での避難!

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。

車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。徒歩で避難しましょう。

避難指示の種類

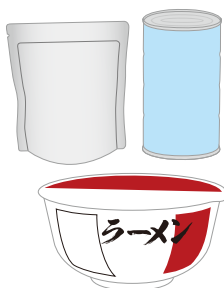
野湾市ハザードマップ」の作成など様々な対策を講じています。

避難指示の種類	市からの呼び掛けの内容(例)	とるべき行動
1 情報準備情報	いつでも避難できるように準備してください。	高齢者や障がい者など避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。
2 避難勧告	家族そろって早く避難してください。	お互い助け合って、速やかに避難所に、避難してください。
3 避難指示	直ちに避難を開始してください。また、近所の方はお互いに助け合って避難してください。	直ちに近くの避難所に避難してください。



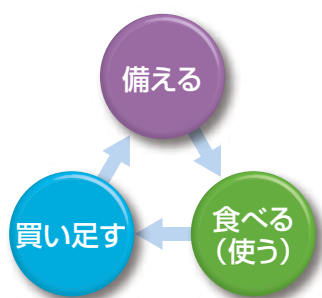
備蓄食料は7日分必要!

発生からしばらくの間、物資の輸送が困難になることが予想されるので、家庭備蓄を7日分程度確保することを勧めています。「最低でも3日分、可能な限り7日分程度」の備蓄は必要です。避難中の食生活に変化をつけるためレトルト食品やインスタント食品も、非常食として活用できます。



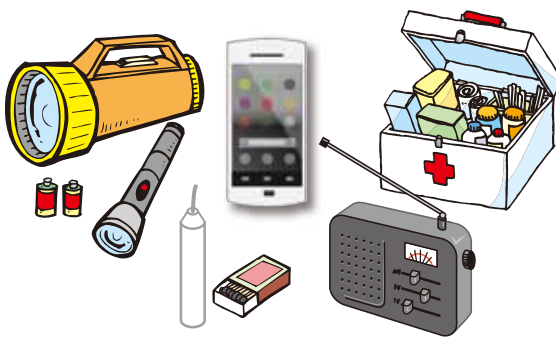
ローリングストック法

7日分を備蓄するのは大変です。消費期限が来るたびに、大量に購入、廃棄を繰り返すことになるので、はじめに多めに購入して、定期的に消費して使った分を補充します。



非常持ち出し品を準備しましょう!

- 懐中電灯と電池
- ローソク・マッチ
- 救急箱や薬
- 携帯電話
- 火や水の要らない食料
- 市販の飲料水
- 現金・貴重品・パスポート
- 携帯ラジオ
- タオル
- 下着・靴下
- ロープ



※せっかく揃えた持ち出し品も定期的に点検しないと使用できない場合があります。電池や缶詰などの賞味期限を半年に一度は点検しましょう。



津波避難訓練の様子

自主防災組織への参加

大規模な災害が発生したとき、交通網の寸断、同時に発生する火災などにより、市・警察・消防等の公共機関が十分に対応できない可能性があります。いざという時に備えて、自主防災組織に参加しましょう。

自主防災組織とは

日頃から防災訓練や防災活動を通して実際の災害に備えるための組織であり、災害時において、被害を軽減させるためには地域住民の協力が不可欠であります。

本市では、組織結成の機運を高めるために、各自治会で講演会や勉強会などを開催したり、備蓄食糧等の配布の取り組みを行っています。